

西東京市ワイワイトーク 振り返り

1 ワイワイトークを開いた理由

西東京市では、市の取組に子どもの意見や声を活かすために、子ども自身が市の取組について意見を発表する場を作っています。

今回のワイワイトークは、市の子どものための取組を知って、取組の「良いところ」や「こうなったらいいなと思うところ」を話し合っ、意見を発表してもらうために開きました。



2 やったこと

〈事前学習〉

□西東京市ワイワイトークワークブック

市の取組について、「良いところ」「もっと良くしてほしいところ」や「自分の意見を言える場所」について考えてもらいました。



Day1 〈7月4日(土)〉 グループワーク

□グループごとにメンバーの人に自己紹介

□グループで武蔵野大学を歩いて「相談などをしたいときに安心して落ち着いて話ができる場所」「お気に入りの場所」探しさらに、どのような場所があればもっとよいかも考えました。

□市役所の職員から「西東京市子ども条例」と「西東京市子ども・若者ワイワイプラン」「ワイワイトークでやること」のお話

市の3つの取組(総合計画、ワイワイトーク、資源循環サミット)について、担当課職員から説明を聞き、自分の意見をワークシートに記入しました。また、3つの取組について皆さんが自由に担当の職員に質問をして、理解を深めました。



Day2〈7月11日(土)〉グループワーク

□グループごとに話し合い、発表資料づくり

市の3つの取組(総合計画、ワイワイトーク、資源循環サミット)に対する意見をグループで共有し、グループで「良いところ」や「もっとこうなったら良いと思うところ」、「参考にしたいところ」、「どんな体験活動にしたいか」についての意見をまとめました。

Day3 〈7月12日(日)〉 発表!!

□各グループの発表とコメント

全員がマイクを持って、考え、意見を発表しました。友だちの発表を聞いた感想をメモに書いて伝えました。

□参加証明書のお渡し

市長から参加証明書を受け取って、発表した小学生から高校生までのみなさんが感想を話しました。

★西東京市 池澤市長からのお話★

西東京市では、4つのことを大切にしています。

1つ目は子どもです。「子ども条例」と「子どもど真ん中のまちづくり」を掲げ、子どもが健やかに暮らせる街を目指しています。

2つ目は環境です。「ゼロカーボンシティ宣言」を通じ、市民や事業者と協力してよりよい環境を作っていきます。

3つ目は平和です。平和を大切にして、安心して暮らせる街づくりを進めます。

4つ目は若者の参画です。若者がまちづくりに積極的に参加することを支えています。

この4つは、これから先の西東京がもっともっと住みやすい町になっていくための土台作りになるものです。子どもが幸せな、子どもに優しい町は、誰にとっても優しい町になっていくと考えています。

今日いただいた皆さんのご意見を、子どもの意見表明としてしっかり市として受け止めて、それに対するまちづくりを進めていきます。

★西東京市 子ども・若者審議会森田会長からのお話★

西東京市では、子どもの意見を大切にしています。子どもの意見が聞いてもらえて、それが子どもが育っていく中で役立つものになっているかどうかを考えながら、街づくりを進めています。

例えば、「資源循環サミット」や「ワイワイトーク」などで、みんなの意見を聞いて大人や専門家にはない気づきをもらえたり、若い大学生が街づくりの会議に参加して意見を出してくれたりすることが、市の取組につながって、きちんと価値のあるものになり、次の世代のためになるように取り組んでいます。

これからも西東京市がもっと子どもや若者に優しく、安心して暮らせる街になるよう、皆さんの意見を聞いて協力していきたいと思っています。ぜひ、どうしたら意見が広がり、みんなが幸せになれるか考えてみてください。



西東京市ワイワイトーク グループ1・2

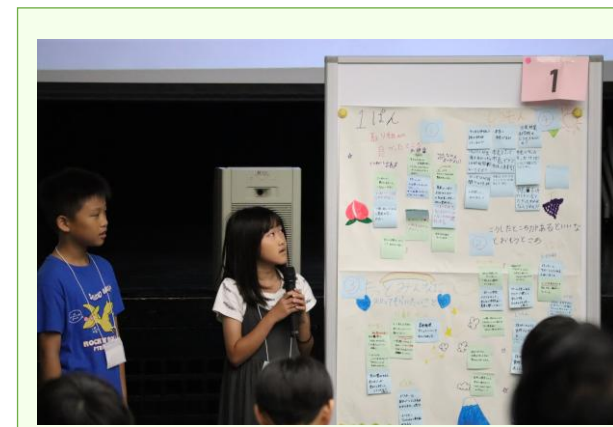
1 発表



2 他の友だちや大学生からの感想・コメント



- ・市長への質問が ^{しつもん} 鋭 ^{すど} かった!! すてきな発表でした。(2件)
- ・声の大きさがちょうどよくおもしろみがあった。
- ・いちばんさいしょ ^{きんちょう} 一番最初で緊張していたと思うがハキハキしゃべっていていいと思った。(2件)
- ・さまざま ^{かんてん} 様々な観点から良くした方がいところを ^あ 挙げられていていいと思った。
- ・発表だけでなく聞きたいことをたくさん聞く姿勢がすごいと思った。
- ・市長、副市長、教育長の前でしっかり発表しており、よかったと思います。
- ・たくさん書いていて色々な質問 ^{しつもん} もあるのがよかったです。
- ・市長への質問 ^{しつもん} があって良かった。私のグループのように、ワイワイトークのような場をたくさん作ってほしいに ^{どうかん} 同感です!!



3 西東京市からのコメント

〈企画政策課からのコメント〉

みなさんにお話する時は、必要のない緊張が生まれないように1対1ではなく、みんなで集まってお話をします。みなさんが出してくれた意見に対しては、お返事をします！

説明する時も、説明ばかりになってしまうと集中力が落ちてしまったり、眠くなってしまうかもしれませんね。そのようにならないように皆さんがこれまでの授業で習ったことを中心に質問(クイズ)に答えてもらいながら進めています。

今年はもっとたくさんの学校でできるように準備をしています。何か聞きたいことがあるときは、教室にいる市役所の人や担当の先生に質問ができるようにしていますので、なんでも聞いてくださいね。

〈資源循環推進課〉

まちの清掃をすることで、「まちをきれいにしたい」という気持ちが少しずつ広がっていくと思います。そうなっていけば、まちの人達が気持ちよく生活できるすばらしいまちになっていくと思います。そういったまちづくりをしていきたいと考えています。

これまで小学生・中学生のみなさんとは、学校への出前講座などでごみを減らすことやまちをきれいにする方法について一緒に考えてきましたが、高校生のみなさんと考える機会が少ないと感じていました。そこで、資源循環サミットを始めて、ごみを減らすことやまちをきれいにする方法に関する課題を一緒に考えていくこととしました。資源循環サミットに興味を持っていただけて大変にうれしく思います。幅広く、多くの皆さんに、こういった活動を知っていただける機会を考えていきたいと思っています。

〈子ども若者応援課からのコメント〉

市からのお返事をすることや話し合いをサポートしてくれる大学生と協力してやるというところが、ワイワイトークで私たちも大切にしているところなので、みなさんがその点をよいと言ってくれてうれしく思います。

また、発表の順番を決める時間がほしいということや、その場で考える時間があつたほうがよいというところは、参加したみなさんでしかわからないところなので、とても参考になります。次に同じような集まりをやる時には発表前の時間と話し合う時間をもっと取れるようにしたいと思います。

ワイワイトークに参加できなかった子にも、ワイワイトークでやったことを伝えるということは大切です。みんなのメールアドレスは知ることができないので、その代わりに誰でも見る事ができるホームページなどに当日のお話やみなさんの発表の内容、市からのお返事を載せることでお知らせしていきたいと思っています。

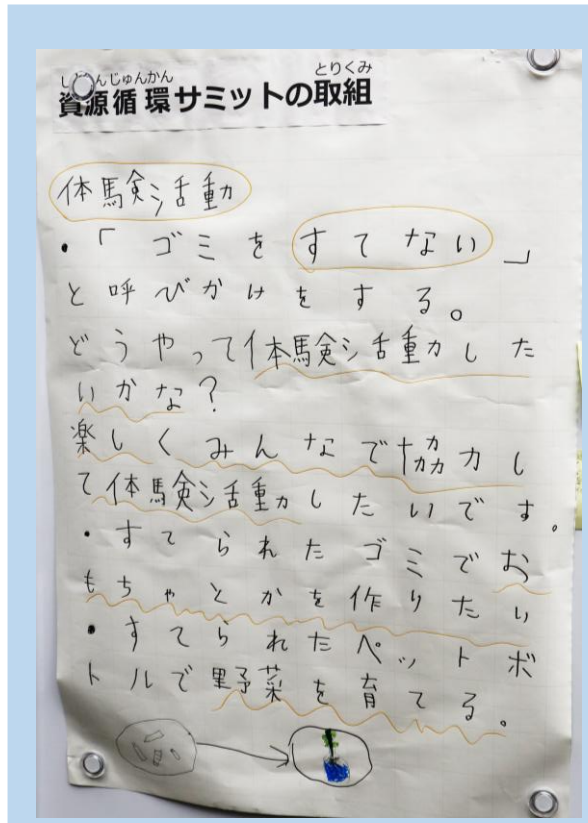
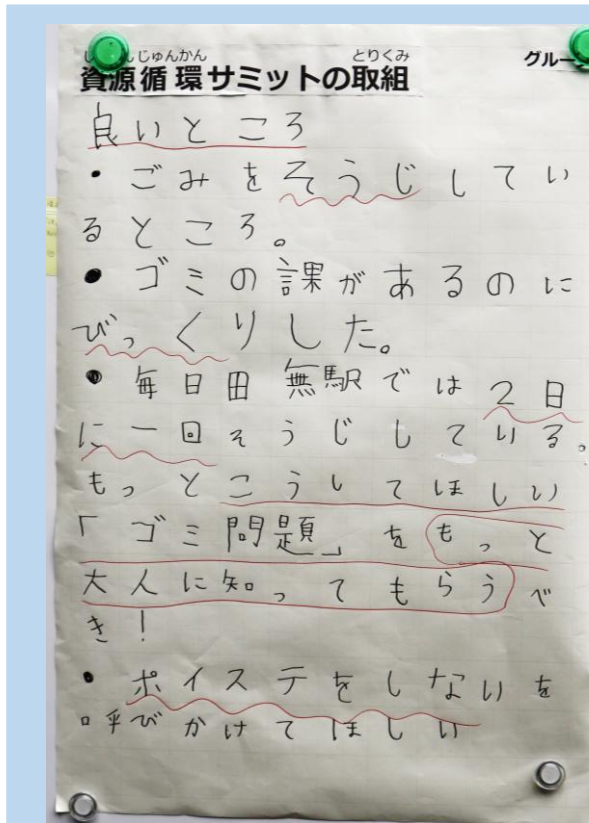
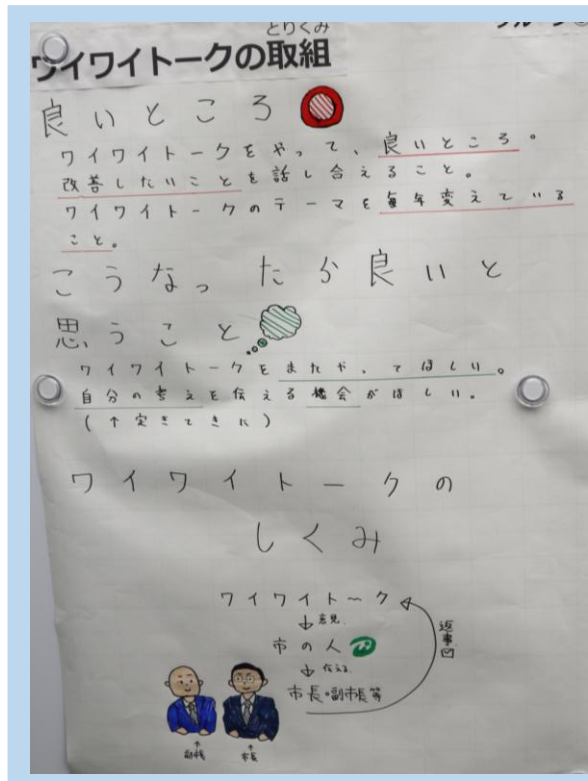
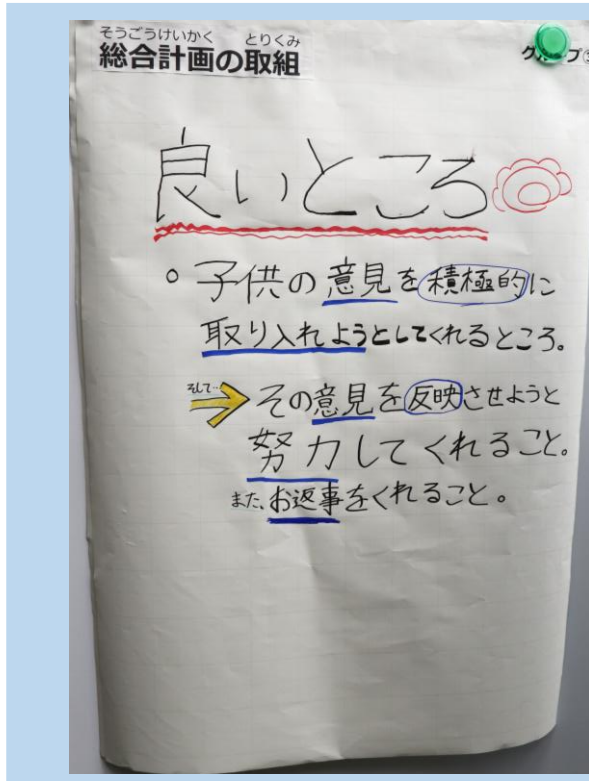
また、お泊りがある活動がいいという意見もありました。確かに楽しそうだと思いますし、みなさんの仲もより深まるかも知れません。しかし、お泊りだとお金がかかったりして、参加できる人が少なくなってしまうことがあると思います。ワイワイトークではお泊りが発生しない方法で行っていますが、宿泊体験のイベントで、夏の「児童館キャンプ」があり、自然の中でみんなで一緒に遊んだり、ごはんを食べたりするイベントもあります。そういったイベントにもぜひ参加してみてください。

ワイワイトークについてのポスターやYouTube動画についての意見もいただきました。今年はワイワイトークのように「子どもの意見を言えること(子どもの意見表明)」について子どもアンケートをやっていて、そのお知らせ用のポスターと動画を作りました。すべての取組について、ポスターと動画を作ることは難しいですが、みなさんが気づくように、お知らせする方法も工夫したいと思っています。



西東京市ワイワイトーク グループ3

1 発表



2 他の友だちや大学生からの感想・コメント



- ・おもちゃを作ったり野菜を育てていて、良いリサイクルのアイデアだと思いました。(2件)
- ・3グループでは対策を立てるだけでなく、捨てられたごみをどうするかまで考えていてすごい。
- ・すごいたくさんの量を発表している。
- ・3グループのいいところ(すごい)。3つのことをまとめている。絵をとり入れている。(2件)
- ・子どもの意見表明を反映させる頻度と規模について考えているのがすごいと思う。
- ・大事なところに色をつけていて良かったと思う。
- ・いっぱい話し合いをしたのが伝わりました。改善点を具体的にされていてわかりやすいね!
- ・意見を伝えられていいと思った。
- ・言いたい所の要点をみんなまとめられていてすごいと思った。
- ・取り組みで分けている。下に線をひいたり、書き込んだりしている。
- ・いこいなイラストが貼ってある。(2件)
- ・イラストを使用していてわかりやすかった。
- ・市長に質問など考えてきているのが良いと感じていた。気になる質問があつて面白い。
- ・文字が大きくみやすい体験活動がいい着眼点だなと思った。(3件)
- ・保谷駅では、毎日、田無駅では2日に1回清掃してくれること。ポイ捨てや路上喫煙をしている人に呼びかけをしているところ。高校生などと意見交換をしていることが実際に色々な改善策を試しているなど活発に活動しているのが伝わった。

3 西東京市からのコメント

〈企画政策課からのコメント〉

西東京市は【子どもがど真ん中のまちづくり】を大切にして、市の様々な取組をしています。そのため、みなさんの意見はとても大切なものです。この大切な子どもの声を計画に反映できるようにしていきたいと考えています。今年は、もっと多くの学校でも意見を聞けるように準備しています。

みなさんから意見をいただいたらお返事をするようにしていますので、これを続けていきたいと思っています。

また、「市の計画を定期的に早い頻度で見直して、子どもの意見がもっと早く反映されると良い。」という意見もありましたが、市の計画は、10年に1回作成し、5年に1回見直しをしています。これには、大きく2つの理由があります。まず1つ目は、計画を作る時は、まちの様子の変化や住んでいる人の希望をアンケートで聞いたりして調査する必要があります。2つ目は、計画に書いてある目標や課題は、短い期間で取り組むものだけでなく、準備をしっかりと長い時間をかけて取り組むものもあります。なので、計画は5年に1回作っています。

子どもの意見を反映させるのは、計画だけではありませんので、一昨年みなさんからいただいた意見から南町遊水地ボール広場が実現したように、市役所の担当の部署でできることは計画の見直しなどを待たずにやっていきます。

〈資源循環推進課からのコメント〉

市では、市民の皆さんに「知ってもらい、気づきや考え方を広げる」活動をしています。これを「啓発」と言います。啓発物（ティッシュ）を配布しながら、歩きたばこやポイ捨てをなくすための呼びかけを行っています。みなさんの声で「ポイ捨てをしないで」と呼びかけると、市役所の職員とは違った形でポイ捨てをやめようという意識になるかも知れません。資源循環推進課では定期的にこの啓発活動を実施しているので、ぜひ参加してほしいと思います。

ごみの問題については保育園や小学校での出前講座を実施しています。また、市の広報誌などでも啓発を行っています。その中でごみを減らすことやまちをきれいにすることを伝えていきます。皆さんの視点からごみ問題について考え、大人への発表などを行うと、市の広報誌とは違った視点を得られたり、大人がごみの問題に興味をもつようになるのではないかと思います。

今回の発表の中で捨てられたものを使っておもちゃを作ったり、ペットボトルで野菜を育てたりするという意見もありました。こういった再利用の考え方はものを大切にする方法の一つです。ほかにも、再利用するだけでなく、ごみそのものを減らしていくことも大切です。これからも、さまざまな方法でごみを減らし、きれいなまちにするためにできることを考えていきたいと思っています。

〈子ども若者応援課からのコメント〉

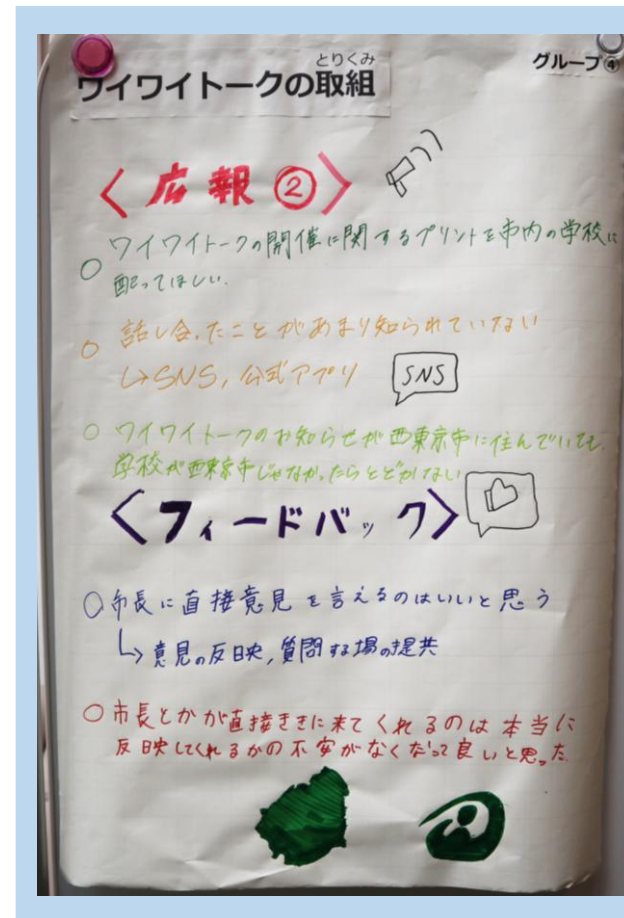
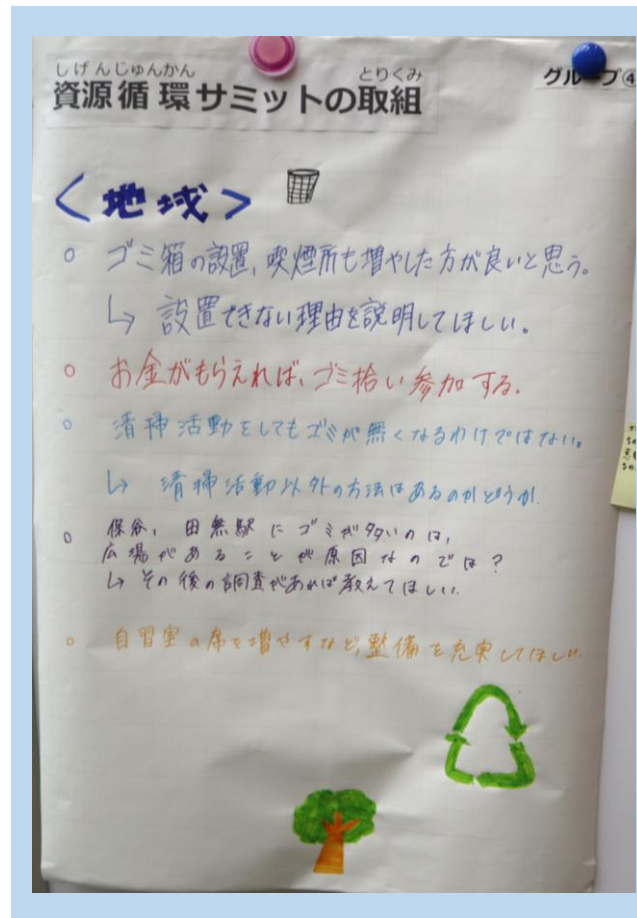
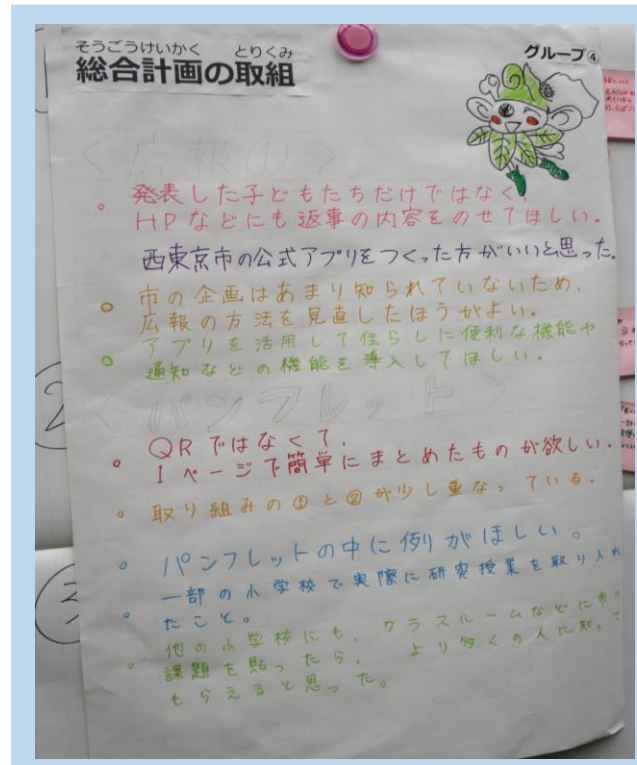
市の取り組みについて、良いところや改善したいところを話し合える場所を作することは、西東京市が力を入れていることであり、今回のワイワイトークもその取り組みの1つです。なので、みなさんがよいところだと感じてくれて、またやってほしいと言ってもらえたことはとてもうれしく思います。

また、定期的に自分の考えを伝える機会がほしいということについてですが、ワイワイトークは毎年定期的に開催しています。ワイワイトークのように集まってお話をする機会以外にも、市では計画を作るときにアンケートをしたり、児童館でみんなの意見を聞いて新しい遊び道具を買ったり、困った時にお話しできる場所も用意しているので、そういうところにもぜひ行ったり、参加したりしてみてください。



西東京市ワイワイトーク グループ4

1 発表



2 他の友だちや大学生からの感想・コメント



- とても詳しく丁寧!とてもハキハキしていてわかりやすい。
- 提案としていままでにないものを挙げていて、良い発想だと感じた。自分たちで考察を深めているのも非常に good!
- 字がじょうず!絵もついている。みだしを使っていてわかりやすい!とても分析していてわかりやすい。
- 自分だったら参考になる。
- とても詳しく書いていて分かりやすい。
- 広報①、②のパンフレット、フィードバック、地域に分けていい!
- 色づかいが良く、見るのが楽しかった。
- 字がきれいで言いたいことがよくつたわってきてすばらしいと思います。
- 西東京アプリ、清掃活動をしていてもゴミはまだある...どうすればいいのか考えたい、私はアプリは、インスタです。市長などに伝えられる場は良い。
- 自分だったらとっても参考になる意見がいくつもあった。
- 色々なテーマに分けて意見を書いているから分かりやすかった。
- 意見がよかった。
- 太文字で見出しを書いていて見やすい。いろいろなイラストが使われていておもしろい。いいイラストがかわいい。
- 今の問題を、自分たちの意見に落とし込んでいるのが良いと感じた。

3 西東京市からのコメント

〈企画政策課からのコメント〉

「より多くの児童に市の課題^{かだい}を知ってもらえるように学校のクラスルームなどに貼^はるともっと知ってもらえる。」というのは効果^{こうか}があり、すごくいい意見だと思いました。

また、たくさんの学校の授業で実施^{じっし}してもらえるように先生へお知らせをしていて、より多くの児童に知ってもらえるように授業中に使用できる「市の課題^{かだい}」についての動画を作成しましたので、これから活用できると思います。

他にも「お返事の内容は、発表した子どもだけでなく、市 HP などにも掲載^{けいさい}してほしい。」という意見もありましたが、お返事は社会科の授業で児童が取り組んだことに対してお手紙を送るようにしています。他の教科でも授業の具体的な内容をホームページに載^のせていないので、お手紙を市のホームページに載^のせたりすることは難しいです。

〈子ども若者応援課からのコメント〉

西東京市では、【子どもがど真ん中のまちづくり】を大切にしていますので、ワイワイトークなどで直接市長や教育長が参加し、意見を交換する機会を作っています。直接質問^{ちよくせつ}に答えることで、みなさんの不安がなくなったり、聞きたいことを聞ける場所をこれからも大切にします。

ワイワイトークのお知らせは、市内の小中学校すべての学校に配っています。届かなかった人もいたようなので、みなさんに配ってもらえるように学校にもお願いしていきます。また、市外の学校に通学している人へのお知らせができるように、郵便^{ゆうびん}で送ったり市のおたより、ホームページでのお知らせができるようにしたいと思っています。他にも市外の学校に通っている人へのよいお知らせ方法があったらぜひ教えてください。

ワイワイトークのワークブックの内容は、1 ページに簡単にまとめて、詳しいことがQRコードで読み込むとわかるように作成しました。今回、そのことが伝わっていなかったようなので、次回からはページの内容をみなさんにお話してからワイワイトークを始められるようにしたいと思います。また、ワイワイトークのワークブックの中に例を書くというのは、今回は「字を少なく、読みやすく」ということを一番に考えて作ったので入れていませんでしたが、来年は例を入れられるものがあれば入れたいと思います。

取り組みそのものがあまり知られていないということは、市のいろいろな取り組みの課題^{かだい}だと思います。SNS や公式 LINE などを使って、取り組みを知ってもらえるように工夫して、その方法を市のいろいろな部署で教え合いながらやっていきたいと思っています。

〈資源循環推進課からのコメント〉

市では、歩きたばこやポイ捨てをなくすために、これまでごみ箱の設置も試してきましたが、たばこの吸い殻^{す がら}による小さな火事になったことがあります。他にも家庭ごみ（家での生活で出てくるごみ）が持ち込まれているのを確認しました。ごみを減らすために家庭ごみはお金を払って捨ててもらっていることもあり、無料のごみ箱を設置することでかえってごみが増えてしまう可能性もあります。

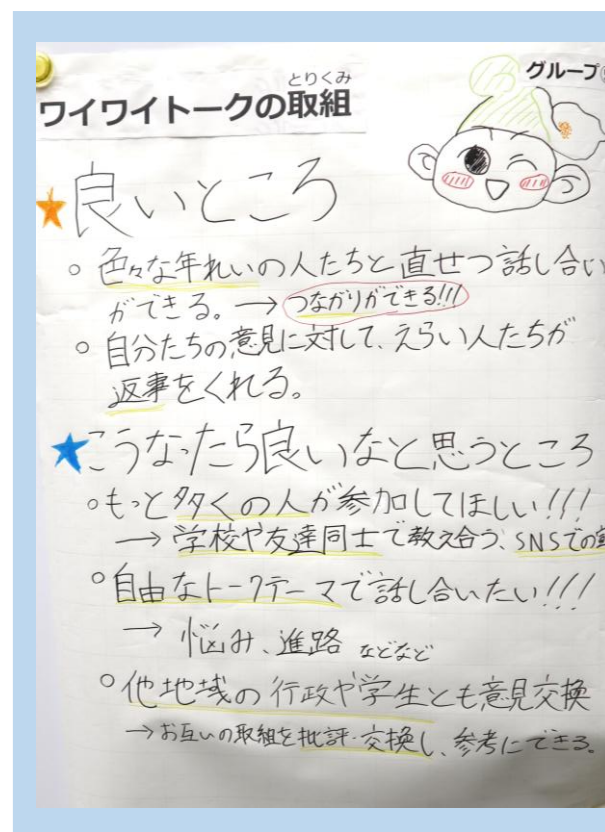
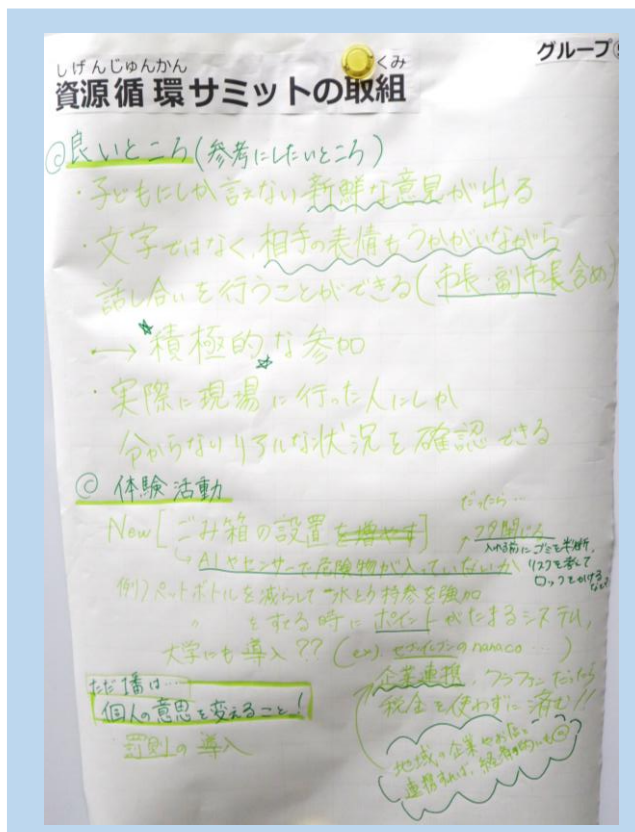
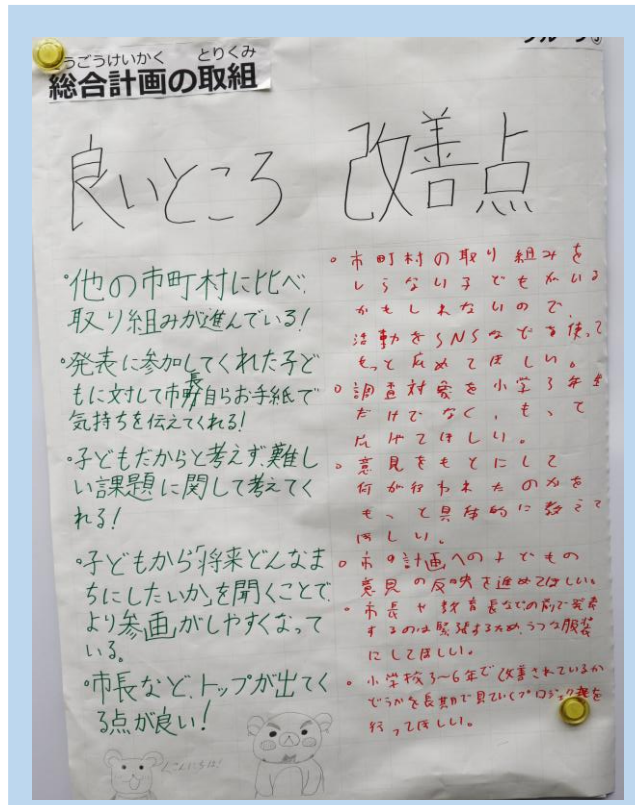
また歩きたばこについては、喫煙所^{きつえんじょ}を設置することで減らせる可能性^へがあります。喫煙所を設置する時に、たばこの煙^{けむり}を他の人が吸ってしまうのを防ぐためには、たばこを吸わない人にも配慮^{はいりょ}した完全密閉型^{かんぜんみっぺいがた}の喫煙所^{きつえんじょ}が必要だと考えています。しかし、駅周辺では、設置できる場所や法律等^{ほうりつ}の問題もあるため、設置できる場所が現状ありません。そのため、現在は駅利用者^{げいはつかつどう}のみなさんへ啓発活動^{けいはつかつどう}を行って、歩きたばこやポイ捨ての防止のお知らせを行っています。

広場があることで歩きたばこをする人がいたり、ごみのポイ捨てが行われるのでは?というのは大切な視点です。一方で田無駅や保谷駅の広場（ペデストリアンデッキ）は、市民の皆さんが集まる場でもあります。そうした空間を残していきたくと考えています。そのため、歩きたばこやポイ捨てを防ぐだけでなく、市民の皆さんが集まり、気持ちよく過ごせる場所として残していくことも大切です。



西東京市ワイワイトーク グループ5

1 発表



2 他の友だちや大学生からの感想・コメント



- ・ちょっとでも言葉を足して話している。
- ・下に線を引いている。文字のペンの色を変えていて見やすい。
- ・みだしの前に星がかいてあって、おもしろい。
- ・いこいーなが描いてあってかわいい。
- ・大学生なりの新しい視点で良いと思った。大人目線で考えていた。
- ・3つの取り組み、それぞれ納得できることや、新しい意見がでていて、深く掘り下げていてすごいと思った。
- ・書いてあること以外にも自分の考えや他のことについてもたくさん話していて、めっちゃすごいと思った。
- ・話すスピードがよい。
- ・全体的なことについても考えている。
- ・有効な改善点がありよい。
- ・短く書かれている内容に言葉で補足して話していたので見やすく、とても分かりやすかった。
- ・例などを入れて詳しく話せていていいと思った。(2件)
- ・いこいーなの絵がかわいい。他にもかわいい絵が入っていていい。
- ・服をラフ→面白い!!もっと多くの人が参加!!
- ・おもいきったことを自由なトークテーマに賛成。
- ・ゴミ箱は設置しないほうがよいと思う。たばこがたくさん捨てられて火事になったら...
- ・資源循環サミットで、AIなどの機械を使っている。
- ・広報(SNS)に対する提案が良いと思いました。
- ・とても声が大きい!字の色の違いがわかりやすい。(3件)
- ・小学生にもわかりやすく説明してくれる!分析力がすごい!字すごくきれい。
- ・良い所や改善点が深くていい。(2件)
- ・ワイワイトークを年2回開催するとか?(子どもの意見を聞く回数を増やす!)
- ・ごみ箱の設置を増やすとか..?

3 西東京市からのコメント

〈子ども若者応援課からのコメント〉

いろんな年齢の人と直接話し合いができ、つながりができるところがよいところと意見をいただきましたが、直接話し合うことで、ワイワイトークが「自分の意見を言える場所」として機能しているということがわかり、嬉しく思います。西東京市では、【子どもど真ん中】を大切にしていますので、ワイワイトークなどで直接市長や教育長が参加してお返事をするなど、子どもの意見交換をする機会をこれからも大切にしていきます。

大人がスーツを着ていると緊張するという声もありました。もっとラフな服装にしてほしいという声は、当日市長たちも聞いていましたので、来年はみなさんが緊張しない服装で参加してもらいたいと思います。

また参加人数については、もっと多くの人に参加してほしいと考えています。SNS での宣伝は興味のない人にお知らせを届けることが難しいと感じています。学校や友達同士で教え合ってもらうには、どのようにしたらよいか、みなさんのアイデアをもらえると嬉しいです。また、自由なテーマで話し合うことや悩みや進路など他地域の役所や学生とも意見交換したいという意見がありました。他地域の役所となると、近くの市や区がそのような取組をやっているなかったり、その市や区独自のテーマ設定があるので、すぐに意見交換会をすることは難しいです。参加する人を募集する時には、「何を話すか」は重要なことだと思いますので、他の役所でどのようなテーマ設定をしているかなどを調べて、みなさんが話したいテーマに近づけられないか、またワイワイトークの時にみなさんからもらったテーマ意見も参考に、考えたいと思います。



〈企画政策課からのコメント〉

今回取り扱った「総合計画」は西東京市の計画の中で一番大事なものです。「総合計画」と聞くと難しく感じてしまうかもしれませんが、社会科の授業で取り扱うことで、子どもでも考えやすくなるようにしています。

SNS等で広めてほしいとの意見もいただきましたが、この取り組みは社会科の授業なので、市報や市のホームページ・SNS を見た人が「参加したい」と思ってくれても、その学校の児童以外は授業に参加することができません。なので、市報や市のホームページ・SNS でお知らせしていません。今後は中学校での授業も予定していて、そこに向けた準備も進めていますので、そういった形で「総合計画」を知っている子どもが増えていくように取り組んでいます。

みなさんから様々なかたちでいただいた意見は 2027、2028 年に作成する総合計画の「後期計画」に活用します。この計画が完成した際には、学校を通じてみなさんにお知らせする予定です。

〈資源循環推進課からのコメント〉

ワイワイトークでは、子どもならではの柔軟な発想や、実際にまちを見て、感じたことが意見として出てくるのが大きな強みだと思います。そうした皆さんの意見を、ごみの減量や歩きタバコ・ポイ捨ての防止に生かしていきたいと考えています。

ごみを減らす方法として、水筒を持参するというのは大切な視点だと思います。また、水筒を持参した人にコンビニで使えるポイントがつくようにするというのもよい発想だと思います。そうした発想を実現していくためには、そのためのお金やこの取り組みを一緒にやってくれる会社、何のポイントを配布するのかなど、中身の部分を話し合っていくとより深みのある話し合いができると思います。同様に、企業連携やクラウドファンディングについてもその募集内容等を具体化していくと良いと思います。実現するためには、協力してくれる企業や必要な費用、ポイントの仕組みなどを具体的に考えていくことが大切です。

また、罰則により個人の意識を変えていくには、そのルールを守るための環境（喫煙所の設置など）の整備が必要になります。また、ルールを作っても守られなければ意味がありません。守られなくなったルールは意味が無いものになってしまいます。このような理由から、罰則やルールをつくるのではなく、「そもそもごみを捨てようと思わない」「路上でタバコを吸おうと思わない」ような環境をつくることを大切に、個人の心に訴えかける取り組みを行っています。